

審判員紹介

1級審査 合格報告

■2012年度 サッカー1級審判員認定審査 合格のご報告

【挨拶とお礼】

この度、日本サッカー協会審判委員会より、2012年度1級審判員認定審査合格とのご連絡を頂きました。

ご連絡を頂いた今、その喜びと共に、今まで支えて下さった方々への感謝の気持ちで胸が一杯です。

今回の1級認定審査受験に際し、ご指導、ご支援下さいました皆様に、心より御礼を申し上げます。



新1級審判員 野村 修

【シーズンを振り返って】

2011年末の府県リーグから、1級審判員候補としての活動が開始しました。2012年2月から3月にかけて、淡路島で行われた兵庫教育リーグで、2週連続の宿泊研修を行い、1次審査に備えました。

4月のシーズン開幕と共に、1級審査が始まりました。4月の関西学生2部、5月の関西社会人2部リーグで1次審査を行い、2試合を突破することが出来ました。7月には、全国各地で1次審査を乗り越えた仲間が、大阪のJ-GREEN堺に集まり、2次審査に向けて、約1週間、互いに切磋琢磨しました。

2次審査は、8月のミニ国体(和歌山)、10月の関西学生1部リーグの2試合でした。ミニ国体では副審として、学生リーグは主審としての審査でした。

そして3次審査は、10月の関西学生1部リーグと11月のKSLカップ準々決勝でした。特に最後のKSLカップには、県外での試合にもかかわらず、多くの兵庫の仲間が応援に駆け付けてくれました。緊張もありましたが、勇気をもらって試合に臨むことが出来ました。

2012年は、これまでの私の人生にとって、最も濃密な1年間でした。その中で、様々な壁に直面し、どうすれば良いかが分からず、思い悩む事もありました。しかし、そのような時はいつも、気心の知れた審判仲間や先輩審判員、そして、審判の先輩であり、人生の先輩でもあるインストラクターの方々がか力になって下さいました。サッカーの素晴らしさを本当に実感した1年でした。

【最後に】



先輩審判員と(左端が私)

来年からは、1級審判員として、今まで以上の、非常に重たい責任を背負う事となります。

1級審判員としての自覚と覚悟を持ち、その責任を全うし、周囲の方々の見本となれるよう、日々、必死で精進して参ります。

そして、少しでも、兵庫のサッカー、日本のサッカーに貢献出来るよう、活動して参ります。今後とも、ご指導ご鞭撻よろしくお願い致します。